

mutation

デザイン学科 永井孝也



1986年 武蔵野美術大学卒。同大学助手を経て1994年 東京工芸大学芸術学部開設時に就任。産学(官)共同プロジェクトを数多く展開。食器、照明器具、家具、ウインドウディスプレイ等を手がけ、現在、刃物メーカーのコンサルタントなど兼務。



昨年同様、授業で展開するための3Dプリンターを利用した課題用試作品。今回は複数パーツを組み合わせた「花器」をテーマに制作。作品の『王冠(krono)』部分は造形的に4回の『変異(mutation)』が限界のように見えたが…。

